

高層化が進む盛岡駅前

東口と西口、駅前と駅裏、高速バス乗り場と市内近郊バス乗り場
道案内に欠かせない盛岡の象徴として



マリオス（Mauros）は、JR盛岡駅西口にある高層ビル（地上20階、地下2階建て、高さ92m）と盛岡市民文化ホール（コンサートホール）からなる複合インテリジェントビルで、平成11年に盛岡駅西口開発の中核を形成する施設として完成しました。

Mart（商店街／商業施設）・ Art（芸術／文化ホール、美術展示室） Life（生活／地域冷暖房施設） Intelligence（情報／高度情報施設） Office（会社／企業オフィス） Singhtseeing（観光／物産観光施設）、以上6つの言葉の頭文字を取って名付けられました。

一方、不來方橋は、平成18年3月に都市計画道路盛岡駅南大橋線の一部として開通し、盛岡市内の橋梁では最多の車線数を誇っています。

盛岡駅前に高層マンションが建設されるようになり、少し小さくなったような気がしますが、今後も西口の顔として多くの人々を迎え入れることでしょう。